



秋たけなわとなりました。ウイズコロナではありますが、イベントや共同作業やを通じて、コロナで減ってしまった地域の人との会話やつながりを取り戻していきましょう。

かるたウォークで大路方面を散策しました

10月9日（日）、「第3回米里かるたウォーク」が開催されました。心配された天候も良くなり、参加者、スタッフ総勢110名が参加し、大きなイベントが成功となりましたことを感謝いたします。回を重ねるごとに、事前当日準備もチームワーク良くスムーズに運営できたと思います。来年はいよいよ集大成の「第4回」!! さらなる多くの方の参加を期待しております。
実行委員長（青少年育成協議会 会長） 山田 剛

米里まつりには多くの参加をいただきありがとうございました。

(参加した方の感想の一部です)

「米里の知らない魅力知りました」「同じ地区でも初めて知ることばかり」

「米里の歴史がいろいろあって楽しく歩きました」

「いろんなものが昔から今までのこっててすごいと思いました」

「知らない小道を歩いてドキドキ楽しかったです」

「次のかるたウォークは雲山なので楽しみです」



グループごとに、いざ出発!



だるま踊りをバックにはいポーズ!



お疲れ様でした。完歩証と参加賞です

町内会より ～ 雲山南 ～

「雲山南団地町内会について」

今回、雲山南団地町内会の記事を掲載するにあたり、町内会結成と発展の基礎を築かれた初代会長の浅井隆夫さんにお話をお聞きしました。

雲山南団地は、昭和51年から宅地造成が始まり、昭和53年4月時点ではまだ10戸余でした。その後、住宅建築は急ピッチで進み、それに伴って生活環境の整備など個人では解決できないいろいろな問題に直面し、行政等への要望等、解決する必要性に迫られたことなどから必然的に町内会結成への機運が盛り上がりました。町内会活動は、昭和54年6月、92世帯、8班編成で開始しました。その後、戸数の増加に伴って班の新設が相次ぎ、平成10年には現在の16班編成となりました。

町内会結成から43年が経過しましたが、雲山南団地に家を建てられた皆様の思いが同じ方向（町内会をより良くしたい）に向かっていたので市内屈指のマンモス町内会に発展したのだと思います。現在、町内会は369世帯、1040名程の方が生活しています。町内会結成当時の皆様も高齢となりました。今年9月の敬老の日に記念品をお渡しした75歳以上の方々は243名でした。今後とも各班の班長さん、見守り隊の方々を中心となり一人住まいの方々が孤立することなく、安心・安全で過ごしやすい雲山南団地町内会にしていきたいと思っております。

(雲山南団地町内会 会長 西垣和良)

市民体育祭への参加ありがとうございました

第65回市民体育祭で米里地区はBグループ総合8位と健闘いたしました。Bグループは若葉台、津ノ井など15地区が参加するグループで強豪がひしめく中、米里チームは、全種目への参加ができなかったものの、参加種目では好成績をあげられ、総合8位となりました。選手の皆さま大変お疲れさまでした。

市民体育祭はコロナ禍において、中止やオープン開催が続いてきました。一部種目の開催は見送られたものの3年ぶりに得点種目が再開され、得点種目10種目、オープン種目5種目の全17種目で熱戦が繰り広げられました。(水泳と陸上は未実施)

来年度は全種目が正常開催される見込みです。地区の皆様のお力を結集して全種目参加と上位入賞を目指したいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、個別得点種目(10種)の順位は以下のとおりです。

- (3位) ベタンク
- (4位) ゲートボール、卓球、テニス、女子バレーボール
- (11位) グラウンドゴルフ
- (棄権) 男子バレーボール、バドミントン、バスケットボール、ソフトボール



(体育会 会長 山根寿彦)